咸宜園入門ぼっくす

一級下　声に出して読む「淡窓先生のことば」

一級上　かるた「咸宜園いろは歌」

二級下　紙芝居「淡窓先生ものがたり」

二級上　紙芝居「咸宜園入門ものがたり」

三級下　すごろく「淡窓先生の一生」

三級上　すごろく「咸宜園入門～月旦評を学ぼう～」

四級下　継手のパズル　咸宜園の建物にふれよう

四級上　江戸時代の国名パズル　門下生はどこからきたの？

五級下　はんこをつくろう　淡窓先生の落款

五級上　漢詩紙芝居「淡窓先生が詠んだ風景」

六級下　日田の古地図　咸宜園をさがせ！

六級上　掛屋の仕事を体験しよう

七級下　和綴じの本をつくろう

七級上　和紙のはがきをつくろう

八級下　漢詩パズル　淡窓先生の漢詩にふれよう

八級上　漢詩のしくみ　淡窓先生の漢詩で学ぼう

九級下　万善簿をつけてみよう

九級上　日記を書こう　淡窓先生の一日

持ち帰り
有料
屋外体験

咸宜園入門ぼっくす

咸宜園では毎月行われた試験の結果を貼りだして発表していました。これを「月旦評」と言います。「咸宜園入門ぼっくす」は一級から九級まであった月旦評をヒントに咸宜園や廣瀬淡窓のことを学んでいただくための体験学習用教材です。

一級上 かるた「咸宜園いろは歌」

淡窓先生は門下生の教育のために「いろは歌」をつくりました。このぼっくすは、かるたを通して「いろは歌」のことを学びます。

二級下 紙芝居「淡窓先生ものがたり」

淡窓先生を主人公にした紙芝居です。先生がどのような人柄で、咸宜園はどんな学校だったのかを学びます。

咸宜園入門ぼっくすの紹介

三級下 すごろく「淡窓先生の一生」

淡窓先生の一生をすごろくをつかって学びます。ここでは先生の家族のことや咸宜園の歴史について学ぶことができます。

三級上 すごろく「咸宜園入門～月旦評を学ぼう」

すごろくで遊びながら「月旦評」のしくみなど、咸宜園についてくわしく学ぶことができます。

二級上 紙芝居「咸宜園入門ものがたり」

門下生を主人公にした紙芝居です。咸宜園の学校のしくみや門下生の生活、またどのような教育がおこなわれていたかを学ぶことができます。

咸宜園入門ぼっくすの紹介

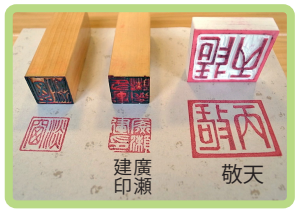
四級下 継手のパズル 咸宜園の建物にふれよう

咸宜園の建物に使用されている大工の技「継手」のパズル（模型）をつかって、その技術を学んだり、咸宜園の建物の中に使用されている場所をさがします。

四級上 江戸時代の国名パズル 門下生はどこからきたの？

咸宜園には全国からたくさんの門下生が入門しました。江戸時代の国名のパズルを使って、門下生の数を出身地ごとに見ていきます。

五級下 はんこをつくろう　淡窓先生の落款



淡窓先生の書には、いくつもの落款（はんこ）が使われています。ここでは、先生の落款（レプリカ）を押したり、自分だけのはんこをつくることができます。

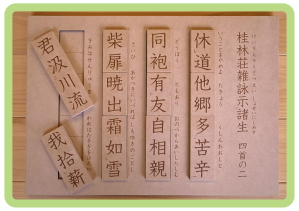
六級上 掛屋の仕事を体験しよう

淡窓先生の生まれた家は、藩の御用達や掛屋という仕事をしていました。掛屋の仕事でもあった両替のしくみを江戸時代のお金を使って体験します。

七級下 和綴じの本をつくろう

淡窓先生はたくさんの本を書き残していますが、当時の本は和本または和綴じ本と呼ばれ、綴じかたに特徴がありました。ここでは和本づくりに挑戦します。

八級下 漢詩パズル　淡窓先生の漢詩にふれよう



淡窓先生の漢詩「桂林荘雑詠示諸生」や「隈川雑詠」を使ったパズルです。漢詩にふれ、そのしくみや意味を学ぶことができます。（全４種類）

七級上 和紙のはがきをつくろう

紙の原料のひとつである楮から和紙のオリジナルはがきをつくることで、日本の伝統的な紙の文化にふれることができます。

廣瀬淡窓肖像（福岡県八女市・光善寺蔵）

咸宜園を世界遺産に！

咸宜園教育研究センター

利用のご案内

開館時間	午前９時から午後５時（但し、入館は４時半まで）
休館日	水曜日（祝日の場合はその翌日） 年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日）
入館料	無料
所在地	大分県日田市淡窓 2-2-18
交通	JR 久大本線「日田駅」下車徒歩約 10 分 高速バス「市役所前」下車徒歩 7 分 車：大分自動車道「日田 IC」から 5 分

［TEL・FAX］0973-22-0268
［e-mail］ kangien@city.hita.oita.jp
［URL］http://www.city.hita.oita.jp/kangien/